

## 羅針盤



2017年5月26日(金) 第8号

成功するためには、能力と同じくらい重要なのが、それに向かう姿勢だ。

(ウオルター・スコット、スコットランドの詩人・作家)

## 「怒るよりも、理解しようとするのが大事。」

### ～ 「国際理解講座」(総合的な学習の時間) ～

1 学年では、「総合的な学習の時間」に様々な分野の方々のお話を聞き、視野や関心の幅を広げ、考え方を学んだり、考える力を高めたりすることができる時間にしたいと考えています。

そのような取り組みの第1弾として、5月24日(水)6・7校時に「国際理解講座」を実施しました。福島県国際交流協会で国際交流員として活動されている大屋直美さんに、ご講演いただきました。お名前を見ても、お姿を見ても、日本人のように見える大屋さんは、実は日系4世のカナダ人。お母様は中国系カナダ人なのだそうです。ご自身が“3つの文化”の中で育った体験を踏まえたお話から、多文化のなかで共に生活することについて考えることができました。

講演後、たくさんの生徒(10人くらい!)から質問が出され、さらに理解を深めることができました。質問に答えて大屋さんが話された「世界中に難しい状況が存在しているが、多文化がぶつかり怒りを抱くよりも、まずお互いを理解しようとするという気持ちを持って接すれば、良い関係は築けるはず」という回答が心に残りました。



5月	曜日	行事等	朝学習
27日	土	(週末課題: 国語・英語、数学は通常通り)	
28日	日		
29日	月		数学
30日	火		英語
31日	水	生徒会役員選挙(6・7校時)	国語
6月1日	木	衣替え、第1回登校指導(～6/2)	総合
2日	金	特別時間割(午前中4校時)	数学
3日	土	(週末課題なし、数学は通常通り)	
4日	日		
5日	月	中間考査一週間前	考査に向けて
6日	火		
7日	水		
8日	木		
9日	金	進路講演会(3・4校時)	
10日	土	保護者対象進路講演会(午前中)	

☆ 来月は、いよいよ中間考査です。計画的に勉強しましょう。

考査に関する諸注意については次号で詳しく説明します。

☆ 気温が上がり、すでに夏服という状況ですが、6月から衣替えです。生徒手帳の p.46～47 を確認しておきましょう。

☆ 文理選択・科目選択の提出時期が近づいています(6/14～21)。先週も河合塾の方からお話を伺いましたが、来月9日(金)にも進路講演会があります。きっと刺激と勇気をもらい、やる気が湧くと思います。進路を真剣に考えよう。自分の人生なのだから。

4組 上田 彩加 さん

「日本人は優しい」と言われるが、「優しい」が日本人ではないということが、心に印象深く残りました。…私は高速バスで登校しているのですが、今日の朝、空いている2人掛けの席がありませんでした。私は誰かの隣に座らせてもらおうと思い空いている席を探しましたが、ほとんどの人が一人で座っているにもかかわらず、もう片方の席には荷物を置いていました。それに加えて、みんなスマホをいじっていたりして、私が困っていることに誰も気づきませんでした。しかし、唯一外国人の女性の方が膝に荷物をのせていて、私が「失礼します」と言うと、「どうぞ」と言ってくれました。そのとき、昨日の講演を思い出しました。優しさなどという行いは、人種を表す言葉ではなく、その人自身を表す言葉だということが、身を通してわかりました。…私たちは、自分が経験していないのに、人から聞いただけで聞いた人や物をフィルターを通して見ていると思います。そのフィルターは、実際に合っているのかもしれないけれど、もしかしたら自分の価値観の邪魔をしているのかもしれない。だからこそ、自分の目でその人自身を判断することが大切だということ学びました。一人ひとりを、一個人として見るのが、周りにとっても自分にとっても、人と関わる上で大切な部分なのではないかと思います。

6組 手代木 大聖 くん

僕は今日の講演を聞いて、異なる文化を理解することは、自分が思っているよりも簡単なことではないんだと感じました。そして、言葉の壁というものも自分が思っているよりも厚く、高いものだと感じました。

日本語が話せないから日本人とは友達になれなかったり、中国語が話せないから中国人とは友達になれなかった、という話を聞いた時、(その人たちに友達になろうとする気持ちがあったかどうかは別として)外国人とでも「やさしい日本語」とジェスチャーさえあればなんとかなるという考えも、言葉がないと仲良くなれないのかなというように揺らいできました。言葉が通じない相手とコミュニケーションをとることが、どれほど難しいかが少しわかった気がします。

また、「〇〇人っぽいね」という言葉が不快だったという話は意外だなあと思いました。相手に悪意がある訳ではないと理解していても、話をするとき言葉を選ばなければいけないなと思いました。自分とは異なる文化を理解しようとする姿勢が、もっと広まればいいなと思います。

6組 吉田 りな さん

この講演を聞いて「イメージ」の持つ力は計り知れないなと思いました。私たちは、よく人を第一印象やイメージで判断しがちで、その人が本当はどういう人なのか、その一番大切な部分まで気づけないことがあります。今回、直美さんの話を聞いて、「日本人だから礼儀正しい」というイメージが、少数の日本人の行動で「日本人は嫌いだ」というイメージに変わり、まるで他の日本人まで嫌いな存在になってしまうということが、とても心に残っています。ニュースで「日本を訪れる外国人のマナーを守れていない」という報道があり、「外国人はダメ・嫌い」といったイメージがついてしまいがちです。全員が全員そうではないのに、そういうイメージを持って接してしまうのでは「国際理解」などできるわけがありません。

直美さんが、「もし相手の外国人が、日本人として初めて会うのがあなただとして、良いイメージを持たれたいのなら、良いことをしよう」とおっしゃっていました。確かに、そのとおりだなと思いました。これから、日本に来る、あるいは住む外国人はもっと増えてくると思いますが、直美さんのおっしゃったことを大切にして、お互いを理解していきたいと思いました。